

町の人口（3月末）

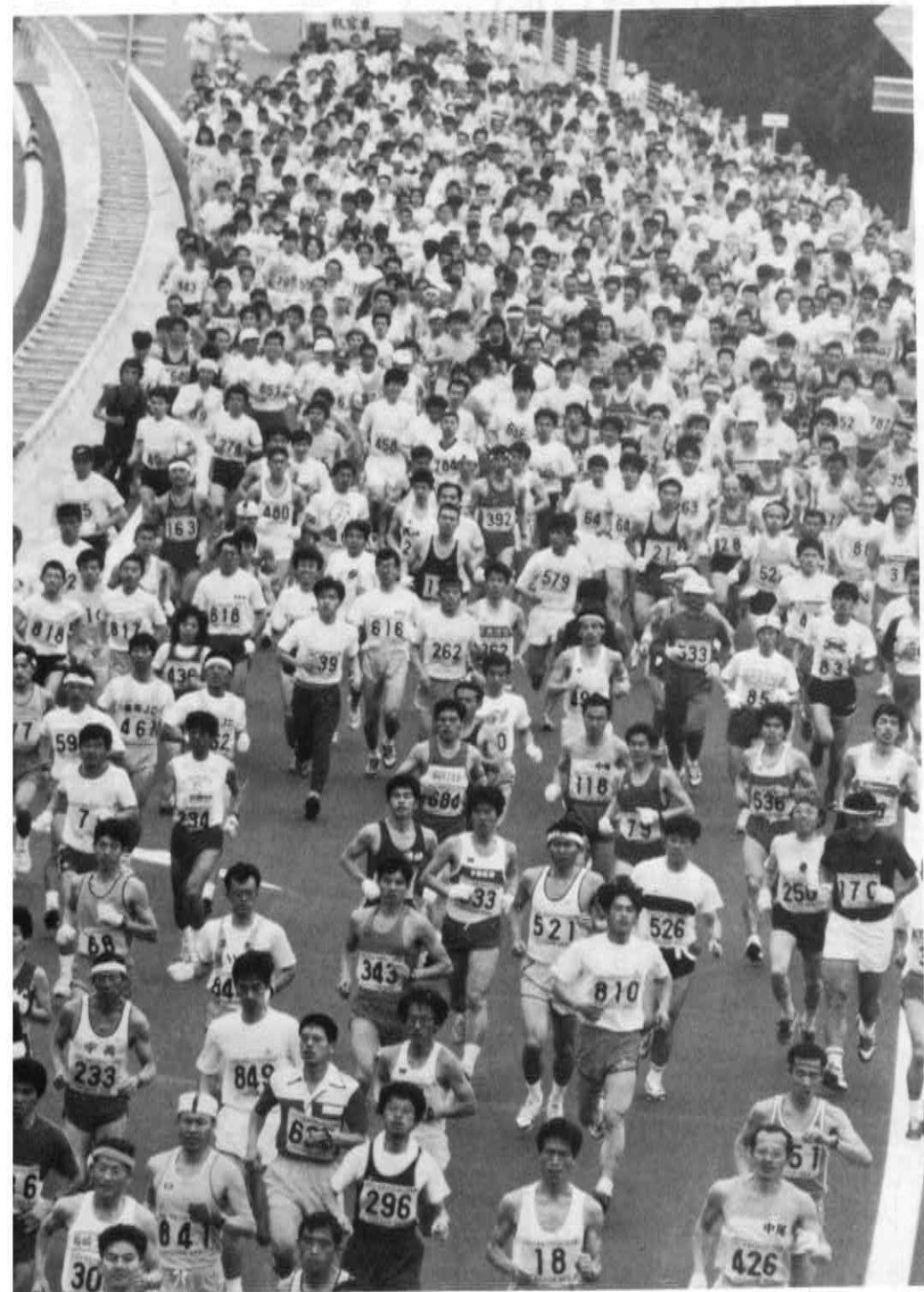
・総人口	15,918人
男	7,641人
女	8,277人
・世帯数	3,967世帯
・転入67人・転出166人	
・出生12人・死亡4人	

町の花・ツツジ

「ハイウエーを走るう」ロード 6,400人がカ走!! レース大会

（3月20日）

（関連記事は10～11ページ）



昭和63年4月号

提携を調印

——。マウア市(ブラジル)

波佐見町とブラジル連邦共和国マウア市との姉妹都市締結調印式が、四月二日勤労者体育センターで開かれ、兒玉薫町長とレオネル・ダモ市長が、相互の交流と友好関係促進を誓いがっちり握手。姉妹都市としての第一歩を踏み出しました。

末永い友好と平和誓う!!



肩を抱き合い友好を誓う兒玉町長とダモ市長

マウア市からはレオネル・ダモ市長や市議会議員、日系一人、県人会、経済界の代表十人、町議会、各種団体、地区役員の代表ら約百三十人と波佐見中学校の二、三年生約五百人が、ブラジル国旗とマウア市旗を振って歓迎しました。式は波中プラスバンド部の

ブラジル国歌と「君が代」の演奏で開式。そのあと出席者約六百人が見守る中、兒玉町長とダモ市長が、それぞれ二通の姉妹都市提携宣言書にサインし、がっちり握手、ここに海をへだてた一番遠い国ブラジル・マウア市との国際交流の橋がかけられました。調印後、兒玉町長は「心から歓迎する。まず両市町が今後強い絆のもとで、経済・文化・技術などの交流と世界平和のために貢献することを誓う。ブラジルは、戦前戦後を通じて日本に対して最も好意的。長崎県人も八十年前から今日まで五千人が移住し、ブラジルの開発に相互協力している。波佐見町、マウア市は、陶磁器産業という共通したものがあるし、未来の子どもたちのためにも今後、世界に開かれた地域社会づくりを進めたい」とあいさつ。これに対しダモ市長は「ブラジルの日本人は、日夜の努力で地位を築いてきた。日本人の勤勉さは、わが国の発展に大きな影響を与えてきた。今後、勤勉な波佐見町民を見習い、立派なマウア市を築いてゆきたい」と



体育センターで開かれた「姉妹都市提携調印式」

述べ、互いに記念品の交換をしました。このあとアトラクションでは、舞踊や琴、波中プラスバンド演奏などが披露され、式典に華を添えました。一行は、歓迎レセプションの後、波中武道館での剣道クラブや町内の神社、窯元、中尾陶芸の里を見学。また三日には、鴻ノ巣公園「記念植樹」をはじめ、弓道大会や陶器まつりでの歓迎パレード、皿まわし大会、陶芸の館でのロック・楽画、さらに茶道教室などにも出席。各訪問先での横断幕や小旗を振っての大歓迎ぶりに、一行は終始感激した表情を見せていました。

姉妹都市

(日本) 波佐見町。——

木から花に、そして
実がなるように



レオネル・ダモ
(マウア市長・56歳)

波佐見町民のみなさん、私たち一行を心から歓迎していただき、本当にありがとうございました。

2日間波佐見のいろんな所を見学しましたが、町民の方々の素晴らしい人間性と素晴らしい環境に感動しました。ブラジル国花・「イッペー」や日本の桜などの記念植樹をすることができ感激でいっぱいです。

木を植えて花が咲き、そして実がなるように、——長い長い年月をかけ、手入れと思いやりをかけて育てていかねばなりません。波佐見とマウアは、今「友好関係という木」を植えたばかり。私たちは、この木を末永く、子・孫へと受け継ぎ、思いやりを持って育ててこそ、その成果が生まれてくると信じます。

国民性や経済、環境と随分違いますが、両市町が今後手を取り合い、心と心のふれあいを大切に、花が咲き実がなるよう、お互いに協力していきましょう。

町民のみなさん、本当にありがとう。



調 印 書



▲ 4月3日には、鴻ノ巣公園で、島原市議、前田道孝さんご寄贈のブラジル国花「イッペー」と桜を記念植樹。

昭和63年4月号

▼陶芸の館では楽画に挑戦（4/3）
風景や鳥、氏名など思いおもいに描きました



▼陶器まつり「歓迎パレード」では婦人会
青年団員らと皿踊り（4/3）

▼波中武道館では少年剣士
たちの練習状況「剣心館」を
視察（4/2）



▲弓を手にして「結構
力があるよ」と感想（4/3）

—ダモ市長ほか次の方々が来町されました—



長崎県人会副会長
福島 政文さん
(52歳)



日系人代表
関谷 由忠さん
(76歳)



通訳
パウロ・フカザワさん
(49歳)



市長官
レナット・ダーモさん
(52歳)



市議会議員
エデン・ブラジルさん
(44歳)



商店代表
ジョン・クリウラさん
(43歳)



バス会社社長秘書
バルターザ・フェルナンデスさん
(17歳)



バス会社社長
バルターザ・ジョゼさん
(49歳)



日伯援護協会地区委員
村上 利行さん
(64歳)



長崎県人会前副会長
尾上 進さん
(50歳)

em vindo a HASAMI.Exmo. SR. PREFEITO
DE MAUA.DR. LEONEL DAMO e sua comitiva
マウア市長御一行様.ようこそ波佐見へ
おいで下さいました。

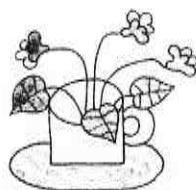
▼パレード後
ダモ市長を囲んで鏡割り
(4/3)



▲鮮やかな芸に一行も拍手がっさい。
陶器まつり会場 (4/3)



◀初めての茶道 (4/3)
正座するのは大変つらい
とか、でも2杯おかわり
した人もいたとか



マウア市
フォト

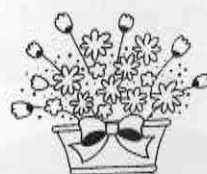
▶「陶芸の里」中尾山では
桜の苗木を植樹 (4/2)



▼窯元・白山陶器を視察 (4/2)
波佐見焼の製造工程など熱心に質問



◀商社・浜田陶業では
社内展示場見学のあと
従業員のみなさんと記念のスナップ
(4/2)





人気集中!!

新企画

皿まわし大会

町のビッグイベント「波佐見焼陶器まつり」が四月一日から五日まで、やきもの公園を主会場に開催されました。

会場では、町内外の窯元や商社など約百二十店が立ち並び、連日大勢の人出でにぎわいを見せる中、自慢の商品を売り込もうと各出店では威勢のいい掛け声が飛びかっていました。

今年はちょうど第三十回目とあつて、昨年新風を吹き込んだ中尾山窯めぐりに加え、三日には皿まわし大会を企画。ソフトムードいっぱいの中、子どもからお年寄りまで盛んに挑戦する姿が見られ、大変な人気を集めました。



7万人

陶器まつり

▶大村藩主の子孫・大村芳子様を招いての陶祖祭(4/1)



波佐見焼発祥の地▶
「中尾山・陶芸の里」に訪れたマウア市一行。



◀中尾山・窯元めぐりには連日、メーカーマイクロバスで送迎。温かいサービスぶりにお客さんも満足。

ドーツと

▲町が一目でわかります。完成したばかりの
陶板製の「波佐見商店街案内」



▲ちやわんの音があちこちで響きわたります。

第30回波佐見



▲商業青年部主催の「器の祭典」コーナー
連日いっぱいの人出で人気を集めました。



▲陶器まつりの顔は、何といてもお客さん
とのやりとり。



▲専門家の指導で子供たちもマスター。
これから町のあちこちで皿まわしの光景が見られることでしょう。



▲知事賞の石原重行さんの作品
「花瓶A, B, C」

力作ぞろに '88ながさき陶磁展

知事賞（二席）に

石原重行さん（波佐見折敷瀬）

’88ながさき陶磁展が四月一日から五日まで陶芸の館で開かれました。今回は第一部の自由・テーマ部門から三部の伝統工芸部門までに、町内外の陶芸愛好家百四十一人が昨年を二十点ほど上回る二百二十五点を出品しました。

入賞は、第一部（デザイン部門）七点、第二部（工芸部門）八点、第三部（伝統工芸産業部門）五点の計二十点。このうち第一部（デザイン）に応募した石原重行さん（折敷瀬郷）が見事第一席知事賞を受賞しました。

会場には連日大勢の陶芸愛好家らが訪れ、素晴らしい陶芸の美と技法に堪能していました。なお各入賞者は別表のとおりです。

（敬称略）

「88ながさき陶磁展」入賞者

第1部 デザイン部門

賞名	作者名	作品名	住所
第1席（知事賞）	石原 重行	花瓶A, B, C	波佐見町
テーマ賞	富永 和弘	盛皿セット	嬉野町
第2席	鈴木 又一	ワインカップ、 アイスカップ	岐阜県
NHK福岡放送局賞	嶋田 敏生	風景（平皿揃）	佐賀郡
中外陶報社賞	花田 和彦	絵がわり皿	有田町
陶業時報社賞	草場 勇次	練上十草文井	〃
日刊工業新聞社賞	坂本 安樹	クールポット “ペンギン”	波佐見町
日本経済新聞社賞	前川 正義	幾何学校&アラベスク 紋パーティーセットA	〃



第2部 工芸部門

賞名	作者名	作品名	住所
第1席（知事賞）	大宅 利秋	陶「静波」	武雄市
第2席	矢鋪 秀治	白磁蓋物	有田町
朝日新聞社賞	嶋田 敏生	初春の華	大和町
NBC賞	奥村万知子	つれたかなー	鹿町町
KTN賞	立井 清人	草文彩土深鉢	波佐見町
西日本新聞社賞	柳瀬 真一	飛カンナ大鉢	福岡県
毎日新聞社賞	林 清次	天目線文壺	熊本県
読売新聞社賞	田嶋 良治	緑釉播落魚文皿	大村市

第3部 伝統的工芸品産業部門

賞名	作者名	作品名	住所
伝産振興協会会長賞	中里 幸康	染付菊萩絵飯碗	三川内町
佐世保市長賞	今村 輝三	染付松竹梅深鉢	〃
波佐見町長賞	中里美知子	睦	波佐見町
長崎新聞社賞	岩永日出子	染付鳳凰	川棚町
肥前新聞社賞	前田 政英	金彩蝶紋デザート 揃	波佐見町

※特別賞 一瀬 国重 特大壺 波佐見町

応募の内訳

第1部	自由作品	79点
	テーマ作品	28点
第2部	工芸部門	64点
第3部	伝統的工芸品 産業部門	54点

一本の矢に集中!!

―陶器まつり・第二十回弓道大会―

陶器まつり協賛「第二十回弓道大会」が四月三日、中央講堂で開かれ、県内外から参加した中学生から一般まで八十一チーム・約二百五十人の選手が、終始熱の入った試合を展開しました。

中・高生の参加も年ごとに増え、底辺の広がりを見せる同大会。三人一組でチーム編成し、二十八は先の的めかけて一本の矢に集中。家族らが



―熱戦が展開された弓道大会―



▶弓道大会の主な結果◀

〈学生の部〉

団体戦

- ①小浜高C
- ②大村高I
- ③佐世保西高E

個人戦

- ①近藤哲郎 (佐世保西高)
- ②池田理恵 (大村高)
- ③野下威一郎 (大村高)

〈一般の部〉

団体戦

- ①佐世保一心館D
- ②島原A
- ③駒場桜

個人戦

- ①浦本 薫 (佐世保)
- ②真崎孝之 (駒場)
- ③為田守久 (島原)



弓道大会を見学に来たマウア市長一行



日

本で、海外の都市と最初に姉妹都市の約束を交わしたのは長崎市。お相手は米国・セントポール市で、一九五五年のことです。

それから今日まで、都道府県や市区町村など、四百二十二の地方自治体が、四十一カ国・地域の外国の都市・州と、姉妹都市の提携を結びました。中には一つで八つもの都市と縁組をしている例もあり、提携総数は今年二月一日現在で六百三十五組にも上っています。

提

携相手都市を国別にみると、第一位はアメリカ、二位は中国で、以下ブラジル、カナダ、オーストラリアと続いています。特に最近、市町村レベルとは別に、都道府県が姉妹県州提携を結ぶケースが増えています。一方、姉妹港、姉妹小・中・高校、姉妹大学といったミニサイズの縁組も次々と誕生するなど、姉妹関係も多彩な広がりを見せています。

長崎市から始まった

●姉妹都市●

イ

姉妹都市の提携を結ぶ動機もさまざま。地理や歴史、風土などの類似点がきっかけを作ったケースもあれば、たまたまその地を訪れた人が提携の道を開いた場合もあります。

タリア中部の小都市チエルタルド市と群馬県・甘楽町は、後者の一例で、甘楽町を訪れたチエルタルド市出身の女性ジャーナリストが橋渡しをし、縁組が成立しました。一昨年、昨年夏には中学、高校生の相互訪問が実現。言葉はほとんど通じないながらも身振り手振りで意思を伝え合い、別れの時には互いに涙を流すほど心の通う間柄になったといえます。これこそ「ピープル・トゥ・ピープル」。人と人、心と心で結ばれた地球家族の関係といえますね。





▲約4,100人が走った7部・オープン「ゆっくりジョギングコース」のスタート。危険防止のため数回に区切って出発しました。



▶20kmトップでゴールしたカネボウ・清水悟選手



▲足の故障で欠場した伊藤国光選手、サインにも心よく応じていました。



◀3月17日は大会役員400人を集めて打ち合わせ会が開かれました。大会の成功は何といても裏方さんの力があつたこそ！

武雄佐世保道路（西九州自動車道）大塔―波佐見間十二キロの開通を記念する波佐見焼陶器まつり「ハイウェーを走ろう」ロードレース大会（町体協など主催）が三月二十日、本町折敷瀬郷岩崎の波佐見有田インターチェンジで開かれ、全国から集まった約六千四百人の選手が、二十キロ、十キロ、五キロとそれぞれ思いを込めて力走、三月二十四日供用開始する同自動車道の完成を祝いました。

開会式では、兒玉町長、伊藤県教育長からのあいさつのあと、選手宣誓に決まったゼッケン833（ハサミ）の田川直美ちゃん（セ）中央小二年が、家族や大会関係者らがジーンと見守る中、「みんなが楽しく走れるこの立派な道を、一生懸命走り抜くことを誓います。」と落着いて宣誓。会場からウィーンと大きな拍手が沸き上がりました。

▲立派にできました！選手宣誓の田川直美ちゃん。大会をグーッと盛り上げました！

各部門の主な成績

第1部（一般男女・20キロ）

- ①清水悟（招待―カネボウ防府）1時間2分53秒
- ②中野正和（同）1時間5分4秒
- ③森芳幸（東彼協協）1時間6分9秒
- ④洪江利之（波佐見）1時間11分9秒

第2部（壮年四十歳以上・10キロ）

- ①中山 好美（長 与 町）34分8秒
- ②諸富 淳（佐世保走ろう会）34分27秒
- ③森山 恵悟（長 崎 市）35分8秒

第3部（高校一般男子10キロ）

- ①平石 征二（瓊浦高陸上部）32分39秒
- ②佐々木隆司（伊 万 里 市）32分45秒
- ③清水 哉（瓊浦高陸上部）33分10秒

第4部（高校一般女子10キロ）

- ①野口 寛子（鹿島実業高）37分20秒
- ②井川 麻紀（西 彼 農 高）40分54秒
- ③山口由紀子（鹿島実業高）41分13秒

第5部（中学男子5キロ）

- ①前田 了二（武 雄 川 登）16分19秒
- ②井上 力哉（崎 辺）16分28秒
- ③岸本 高典（深 江）16分40秒

第6部（女子5キロ）

- ①原口 律子（西 彼 中）18分26秒
- ②大宅 美鈴（武雄川登中）18分27秒
- ③小西 弥生（西 彼 中）18分27秒

第7部（オープン5キロ）

- ①高濱 靖雄（熊 本 市）16分18秒
- ②大畑 広輝（陸 自 大 村）16分24秒
- ③中村 靖浩（松 浦 市）17分26秒

「ハイウェイ」を走ろう大会 フォト



▲続々と折り返し点目指します
(スタートから1キロ付近)



▲白バイ隊を先導に一斉にスタート
した10キロコース



▲村木・アーチ橋でも長い列
(写真提供・波佐見写真の増田さん)



▲心はひとつ! (中島ファミリー)



▼折敷瀬郷では、3月13日一足先に
「ゆっくり歩こう会」を行いました。



▲入念に準備体操
(南少剣クラブ)

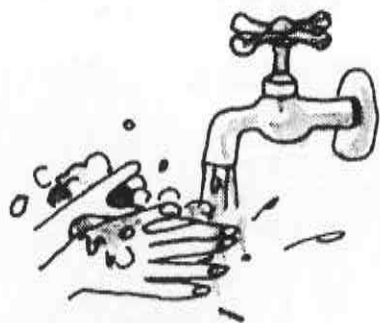


▲飛脚姿で走る
波佐見郵便局員

▲各地の大会ゼッケンで作った
ハッピーで走る人も……。

▼イベントコーナー豚汁・
ぜんざい・うどんなど、
あつという間になくなりました。





超過料金の表

使用水量 m³	超過料金(1.0m³につき)	
	現行料金	改定料金
11～50	220円	220円
51～200	250円	
201～	290円	

水質検査結果

施設名(水源名)		上水道 (中央地区)
採水地点		宿郷
検水区分		浄水
採水月日		2月9日
残留塩素		0.7ppm
検査項目	水質基準	検査結果
亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素	10mg/ℓ以下	0.4mg/ℓ
塩素イオン	200mg/ℓ以下	9.8mg/ℓ
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	10mg/ℓ以下	1.7mg/ℓ
一般細菌	1ml中100以下	1ml中0
大腸菌群	検出されないこと	検出しない
PH値	5.8～8.6	7.4
臭気	異常でないこと	異常なし
味	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	5度以下
濁度	2度以下	2度以下
上記検査項目についての判定		適

上水道事業に

五簡水を統合

超過料金も一律二〇円に値下げします。

六十三年度から中尾、鬼木、井石(中の原地区)、野々川、村木の五地区簡易水道事業を上水道事業に統合することになりました。

これまでは、上水道事業会計と五地区簡易水道事業会計は、二つの会計により別々に事務を処理していましたが、これを統合することにより、予算執行等の事務の簡素化、あるいは施設の合理化を図ることにいたしました。

また、同じく六十三年度から、水道料金を一部分改定することになりました。

これまでは、水を多く使えば使うほど水道料金の単価が高くなる料金体系でしたが、このことに對して、何とか改定してほしいとの要請が多々あり、また、多く使うほど単価が高くなれば「水道はなれ」を生ずることもなり、今回の改定となったものであります。

特に、多く水を使われる方はこの改定により大分安くなります。

ますので、大いに水道を利用していただきますよう、期待しています。

本町の水道の水は、野々川

グムの放流水、河川の水、地下水などを使用していますが、これらの水を飲料水に適するように浄水してから給水をしていきます。そして、定期的に水質検査をして、衛生的基準を確保しております。

水質検査の一例は別表のとおりです。

水道水は清潔な水です。これから大いに利用してください。

町の水道



本町上水道の要「湯無田浄水場」
1日5,000トンの給水能力があります。

ナラリーマンの奥様へ

届出は忘れないでください



ナラリーマンの奥様は全員加入，未届の人はお早目に◎

届出後の

手続きは

昭和六十一年四月から新しい年金制度がスタートし、二十歳以上六十歳未満の方は、学生や老齢年金を受けている人などを除いて、全員が国民年金に加入することになりました。

このうち、サラリーマンの奥様（厚生年金や共済年金に加入している人の被扶養配偶者）は、「第三号被保険者」として国民年金に加入しなければなりません。

「サラリーマンの奥さん」（第三号被保険者）の届出をした後、勤めに出て厚生年金あるいは共済年金に加入するようになったとき、自営業などで大きな収入が得られるようになったとき、あるいはご主人が勤めを辞められたり、勤め先が変わられたときなどにも役場年金係への届出が必要です。

この届出を忘れずと、将来年金を受けられなくなるおそれがありますので、ご注意ください。



ちょっとご注意ください

第3号被保険者の届出は原則として2年以上さかのぼることができません。したがって、例えば61年4月から第3号被保険者に該当しているのに、の旨の届出をせず放置している人の場合、昭和63年7月までに届出が行れないと、保険料を滞納していたものとみなされる期間が発生してしま、将来の年金額の算定などの上で不利益になります。



ピクニック

河原のピクニック広場では、春の日ざしをいっぱい浴びて、たくさん家族やグループがお弁当を広げたりバーベキューをして楽しんでいました。ここを管理している町役場の担当者がこんな話をしてくれました。

「戦後、進駐軍が来た時、日曜日になると、その家族たちが、ここで食事をしていました。彼らには家があるのに、なぜ外で食べるのかなと不思議に思いました。当時はピクニックなんて言葉も知りませんでした。」

最近では、野外で食事を楽しむピクニックがたいへん人気です。もっとも、日本にも昔から、炊事遠足とか、いも煮会など野外で食事と団らんを楽しむ風習はありました。野だてなども、野外を楽しむ伝統のひとつでしょう。

野山を歩いて、そこで食事をするのが本来のピクニックですが、最近では炊事用具を車に積んで行くことも多くなりました。こういうのはデイクャンプ（日帰りのキャンプ）とも呼ばれます。

ところで、五月は野鳥の繁殖期で、美しいさえずりが聞ける季節です。ピクニックをしながら野鳥の声を聞くなんて最高ですね。

五月十日から十六日までは「愛鳥週間」——いわゆるバードウィークです。自分の住んでいる地域にはどんな鳥がいるのか——家族で確かめてみるのもいいですね。

波佐見C, 見事優勝飾る！▶

——県身障者ゲートボール大会——

9 月・九州大会出場

第7回県身体障害者ゲートボール大会（県身体障害者ゲートボール協会主催）が、3月13日諫早市営ソフトボール場で開かれ、本町の波佐見Cチームが見事優勝を飾りました。

今大会には、県下34市町から63チーム、約450人が参加。このうち本町からはA・B・Cの3チームが出場したもの。

16コートに分かれてのリーグ戦に、選手たちは、手足や視・聴覚の不自由をのり越えて熱戦を展開しました。

なお、優勝した波佐見Cと2位の諫早A、3位の



大島町Bは、9月20日佐賀県嬉野町で開かれる九州大会に出場します。

ご健闘を祈ります。



三連覇を飾った稗木場チーム

◀稗木場 3 連ぱ成る！

——第20回町民バスケットボール大会——

第20回町民バスケットボール大会が、3月6日波佐見高校体育館で開かれ、参加7チームは、A・B両パートに分かれ終始白熱した試合を展開。決勝の稗木場対コスモス戦では、息詰まる攻防の末稗木場が食い下がるコスモスを56対54と1ゴール差でおさえ、見事3年連続12回目の優勝を飾りました。

♪初めての音楽の祭典♪▶

——第1回波佐見町民音楽祭——

町内で活動されている音楽家や音楽団体が一堂に会して、第1回町民音楽祭が3月13日(日)体育センターで開催されました。

児童合唱団がオペレッタ「みにくいあひるの子」を披露するなど、すばらしい発表が次々と出されたほか、ゲストの県室内楽協会の見事な演奏ぶりに、大きな拍手が沸き上がっていました。

また、前夜祭では、青年団によるフォークとロックのコンサートがあり、会場は燃えんばりの熱気に終始つまれました。



児童合唱団のオペレッタ「みにくいあひるの子」の一場面

力作ずらり！

——波佐見写真クラブが写真展——



波佐見写真クラブ（田川輝男会長、11人）の作品展が3月29日から4月8日まで、親和銀行波佐見支店ロビーで行われ、訪れた町民の目を楽しませました。

先の「西海大賞」写真コンテストで大賞を受けた、敷瀬郷の江口末男さんの「鶴の里出水」をはじめ、世保市の写真家・吉田武康さんの「モトクロス」、昨年の町民文化祭の受賞作品など力作46点。波佐見フォトクラブや一般の作品も加わり、これまで以上の中味の濃い写真展となりました。

中央小正門横に完成した
卒業記念「希望の塔」



◀ 卒業記念

「希望の塔」完成 中央小

中央小学校に「希望の塔」完成。——卒業生一人ひとりが描いた小皿をはめ込んだ卒業モニュメント。3月19日、卒業生115人と先生や父母らが一緒に除幕式を行いました。

モニュメントは幅80センチ、高さ180センチほどで、ミニ煙突といった感じ。正面には、塔名、校名などがあり、左右と裏面に児童がイラストや好きな言葉、未来の夢、氏名を描いた直径10センチの絵皿がびっしり並んでいます。

式では卒業生代表の山下和昭君が「中学校でくじけそうになったら、この希望の塔を見て頑張ります」とあいさつ。

さっそく父母らは塔を囲んで、「よくできてるね」と、子供らの作品を見入っていました。

双子がなんと6組!! ▶

——波佐見中新年生——

波佐見中学校（谷山健治校長）の入学式が4月7日行われ、新1年生296人の中になんと双子が6組も入学、町の話題になっています。谷山校長は「教職26年でこんなことは初めてですよ」と驚いた様子。

敷瀬郷の平尾正明さんの長男、達明君(12)と二男・義洋君(10)ら女子1組を含む6組。クラスは、いずれも7学級に別々に振り分けられています。

「例の山下さんの5つ子も同じ年に生まれ、この子たちも生まれた年はとっても双子が多かったんですよ」と平尾兄弟の母親・洋子さん。記念写真を撮ったりして、お祝い姿を喜んでいました。

双子の氏名は次のとおり（カッコ内は保護者）敬称略。（写真下左から右へ）

・林和彦・昭彦（春正）▷川口裕子・友子（豊）▷平尾達明・義洋（正明）▷渡辺幸夫・孝夫（千年）▷吉村安太郎・泰二（信五）▷武宮顕紹・真紹（雅彦）



No.9 新しい家族 夫婦で子育て

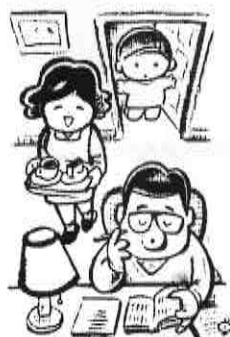
東京都立大学教授・心理学

詫摩武俊

子供の年齢がいくつであっても、子供にとっても、親にとっても身近な人の中に親は入ります。子供にとって親はどんな意味をもった人でしょうか。

子供からみた親

す。親は年長の人として、言葉のつかい方、他人に対する態度、買物の仕方、料理、遊びなどを教えてくれます。教えるという構えがなくても親の生活の仕方そのものが子供にはお手本になります。趣味や人生観にもこのことはあら



挫折したり困ったことがあったときに、親のことを思い出し、こんなとき自分の親はどうするだろうと考えてみることで、親に対して温かな感情をもっている場合にのみ可能です。

自分の世話をしてくれる人、すぐそばにいるお手本、いい友達、対抗する目標、心のよりどころ、おおよそ以上の五つの意味があると思います。そして子供の成長にとっても大抵この順

は説明することもないでしょう。食事、衣服の着脱、洗濯、通園・通学の世話など、自分を保護してくれる親の姿です。この時期の親の愛が大きく、子供に喜びをもって接していると、子供の気持ちは安定し、親に対する信頼がつくられます。

われです。

第三のいい友達というのは子供がやや成長してからのことです。年齢や性別を超えて、気ころの分かった相手、安心して話せる人という関係になります。意見の対立も、妥協できない見解の相違もあり

ますが、一つの問題について共通の関心をもてることが望ましいのです。子供が親と同じ考え、同じ生活態度であれば少しも進歩はありません。親を乗り越えようとする意欲が望まれます。衝突し、対立する目標としての親の存在も大切です。心のよりどころとしての親は、主に子供自身が成人してからのことです。親が亡くなった後にも続きます。

子供の心の中にある親の像は子供の成長とともに変わっていきます。そしていい親というのは時に応じて前記の五つの役割を子供に示し、果たすことのできる人であると思います。

田沢重幸さん 体育功労を受賞

第三十回九州地区体育指導委員研究大会が、二月五日福岡県北九州市で行われ、本町の田沢重幸さん（折敷瀬郷）が、体育指導委員功労者として表彰されました。

田沢さんは、三十九年から今日まで、町体育指導員として社会体育の実技指導とスポ

ーツの振興に尽かれています。現在、本町の陸上競技協会長や壮年スポーツ会長として、各種大会の計画実施など熱心に指導する一方、本町の健康づくり運動にも大きく貢献されています。田沢さんの今後の活躍を期待します。

子どもら深めよう ふれあい 語りあい!!

児童福祉週間

5月5日～5月11日



病気一口メモ
その25

職場における“うつ病”



東彼医師会

小島居

衷(岳辺田郷)

最近種々の職場において、うつ状態を起こす人が多いようです。欠勤、職場不適応、退職などの問題があらわれ、時には自殺を企てる人もあります。うつ状態の発症要因、病状などについて簡単に述べてみます。

まず性格傾向ですが、うつ病になりやすい性格としては二つの型があります。

一つは、真面目で几帳面に仕事をし、融通性、柔軟性に乏しい人。もう一つは、健康について適度の不安や恐怖を持ち、わがままな傾向があり、仕事は能率のいい時と

私たちの願いは、何といつても健康ですね。
でも、ちょっとした油断でいろんな病気やけがに見舞われることがあります。
こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心かけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

次にうつ状態は、身体の病気に続いておこることがあり、慢性疾患(特に胃腸障害と循環器障害)や難治性疾病の場合に多いようです。家庭内での病気、別離、死別、家族間の軋轢など家庭内問題も誘因としてみられます。職場の環境としては、職場の人間関係、勤務時間の超過、新型機械の計画、仕事への不満、能率低下、経営不振、人員削減、配置転換、転勤などが主な要因となります。

うつ病の症状は、精神症状と身体症状を伴うのが特徴的です。精神症状としては、出勤しにくい、人に会いたくない、集中困難、無気力、自信や興味の喪失、仕事を辞めたい、追いつめられた気分、

次にうつ状態は、身体の病気に続いておこることがあり、慢性疾患(特に胃腸障害と循環器障害)や難治性疾病の場合に多いようです。家庭内での病気、別離、死別、家族間の軋轢など家庭内問題も誘因としてみられます。職場の環境としては、職場の人間関係、勤務時間の超過、新型機械の計画、仕事への不満、能率低下、経営不振、人員削減、配置転換、転勤などが主な要因となります。

うつ病の症状は、精神症状と身体症状を伴うのが特徴的です。精神症状としては、出勤しにくい、人に会いたくない、集中困難、無気力、自信や興味の喪失、仕事を辞めたい、追いつめられた気分、

はつもの
野菜のお話
初物より出盛りを

初物より出盛りを

栽培技術が進み、一年中いろいろな野菜が楽しめる。冬でも、レタス、胡瓜のサラダも、あたりまえのようにになりました。真夏に、ほうれん草が店先に並んでいても、めずらしくありません。しかし野菜の栄養分は、季節によって多少差があります。ほうれん草は冬の寒さの中で霜にあたって濃い緑色に育ったものが味もよく栄養豊かです。旬の野菜は値段もやすく経済的でたっぷり食べるには初物より出盛りをすすめます。

食卓は、にぎやかで、たのしくありたいものです。そのためには旬の野菜を食べた上で旬以外の野菜も上手

「春」旬の野菜
ほうれん草、まだ食べた野菜です。根みっぱも緑黄色野菜の仲間です。その他に、セロリ、れんこん、たけのこ、菜の花、新キャベツなど。

生ワカメとたけのこの若竹煮など、春の香りと味が、いっぱいです。



料理教室

日程の訂正について

3月号でお知らせしました町公民館「料理教室」の日程の中で、夜の部・毎月第2火曜日コースは、「毎月第4木曜日コース」の誤りでした。訂正しおわび申し上げます。

なお料理教室は、昼の部・毎月第1火曜コースと夜の部・第3木曜と第4木曜の3つのコースがあります。

詳しくは町公民館(☎85-2034番)へおたずねください。

二十三人が異動

町職員 人事異動

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

今回は、三月三十一日付の三人の退職に伴い実施されたもので、課長、参事に三人が昇格したのをはじめ、二十三人が異動。また今年度は新規職員として二人を採用、このほか係の名称変更などによる異動も行われました。

〈退職〉

▽山口五郎(保健衛生課長)
▽友重アヤ子(収入役室参事補兼出納係長)▽山下初雄(南小学校用務員)

〈異動〉

▽保健衛生課長(住民福祉課長)田中真佐亀▽住民福祉課長(同課住民係長)小林良治

▽商工企画課参事(同課商工係長)岳本英毅▽水道課参事(同課参事補兼施設係長)有

福実▽商工企画課商工観光係長(農林課振興計画係長)古

川千秋▽税務課住民税係長(同課町民税係長)石峰実▽

住民福祉課戸籍係長(監査委員主任書記兼議事事務局書

記)岳本治▽住民福祉課参事補兼年金係長(水道課参事補

山口靖子▽住民福祉課社会福祉係長(同課福祉係長)太田

正憲▽保健衛生課国保係長(建設課管理係長)内海幸次

郎▽農林課農政係長(同課農林係長)山口信男▽農林課参

業係長(同課耕地係長)木村

正廣▽建設課管理係長(保健衛生課国保係長)福田和廣▽

水道課管理係長(同課業務係長)山下徹▽水道課施設係長

(同課主査)長與誠人▽収入役室参事補兼会計係長(住民

福祉課参事補兼年金係長)富永廣子▽農業委員会農地主事

(同委員会振興主事兼農林課主査)松下幸人▽農業委員会

振興主事(住民福祉課主査)山田勇治▽監査委員主任書記

兼議事事務局書記(農業委員会農地主事)内海広行▽総務

課主査兼選管書記(保健衛生課主査)小柳信夫▽総務課主

査兼選管書記(収入役室主査)坂口美佐子▽保健衛生課主査

(総務課主査兼選挙管理委員書記)村川昌寿▽保健衛生課主査(農林課主査)北村洋

子▽農林課主査(税務課主査)

福田都▽建設課主査(農林課主査)岡村達馬▽水道課主査

(保健衛生課主査)吉永智恵子▽税務課主事(総務課主事

兼選管書記)諸隈三恵子▽農林課主事(建設課主事)堀池

浩▽鴻ノ巣保育所保母(皿山保育所保母)中村紀子

〈教育委員会関係〉

▽県派遣・社会教育主事(江迎町社会教育主事)井関喜昭

▽南小学校用務員(波佐見中学校用務員)橋本真知子

〈新規採用職員〉
▽住民福祉課―澤田健一▽農林課―本山征一郎

人につき二〇万円

大企業の場合

●八〇万円(初年次四五万円、二年次三五万円)

●三人目からの育児休業者一人につき一五万円

育児休業制度の詳細については、都道府県婦人少年室へお問い合わせください。

育児休業制度 奨励金が 支給されます

労働省では、育児休業制度の普及を図るため、一定の要件を満たす育児休業制度を導入した事業主に対して、育児休業奨励金を定額支給しています。

なお、昭和六十三年度からは、右記の支給に加えて、最初の育児休業者が育児休業を開始してから二年を限度として、その間に三人目以降の育児休業者数に応じた奨励金が事業主に支給されることになりました。支給額は次のとおりです。

中小企業の場合

●一〇〇万円(初年次六〇万円、二年次四〇万円)

●三人目からの育児休業者一



お知らせ

掲載ご希望
企画係まで「波佐見文化」
「創刊号」

発売中!

波佐見町文化協会誌「波佐見文化」—創刊号—が発刊されました。

ただ今、発売中です。お早目にお買い求めください。

○内容は随筆、郷土研究、民話、短歌、俳句などのほか人物紹介、各クラブ紹介と盛りだくさんに掲載されています。

規格A5判、一八〇頁、発刊部数九五〇部。

○価格一冊一千円

○お求めは、町文化協会事務局（丁公民館内）まで。

奨学生募集

次のとおり県および町の奨学生を募集します

	波佐見町奨学資金	長崎県育英会奨学資金
志願資格	○町内に住所がある人の子弟 ○学資の支弁が困難であると認められる人 ○他の団体から貸付を受けない人 ○高校（全日制） ○大学（短大は含み、大学院は除く）	○県内に住所があり、1年以上居住している者の子弟 ○学資の支弁が困難であると認められる人 ○大学（短大・大学院・専修学校は除く）
貸付金額（月額）	○高校 7,000円 ○大学 10,000円	○国・公立 15,000円 ○私立 20,000円
募集期限	5月31日（火）	5月10日（火）
申込先	波佐見町教育委員会管理課（役場内）	

技術開発
研究委託テーマ

県では、中小企業に必要な技術開発を進め、地域産業の活性化をはかるために技術開発委託事業の制度を設け、六十三年度分について次のとおり研究委託テーマを募集しています。希望される企業は早目に申し出てください。（対象）

- 産・学・官の共同により、技術開発を行う企業等。（委託テーマ選定基準）
- ①技術の基礎的分野の研究開発
 - ②基礎的研究成果を鋳工業等に応用するために行う分野の研究開発
 - ③新規の機械設備の試作など（研究テーマの領域）
 - ④ニューセラムミックスの開発に関するもの
 - ⑤自動化技術の開発に関するもの
- （委託費用）
試験研究に必要な設備費、直接経費、直接人件費など一件一千万円以下

少年剣道クラブ

「剣心館」・「礼心館」

剣道クラブ「剣心館」と「礼心館」では、それぞれ会員を募集します。

▼資格：いずれも小学生の男女（保護者の同意が必要）

▼練習：○剣心館：毎週木・土の18時から20時（波中武道館）

○礼心館：毎週火・金の18時から20時まで（東小体育館）

▼連絡先：剣心館：松尾忠彦さん（☎八五―三二〇四番）

礼心館：中村勤さん（☎八五―三五〇一番）

空手

「錬心会」

あなたも空手「錬心会」に加入しませんか。

▼練習：毎週月・金の18時から21時まで（波中武道館）

▼連絡先：村井秋利さん（☎八五―四四〇五番）まで。

来月の納金

- 国民年金保険料
- 水道使用料

善意の窓

○香典返しにかえて

川内郷 村川 昭次様

御尊父故村川巽様

金屋郷 山口 次男様

御母堂故山口カヨ様

折敷瀬郷 川原 美信様

御尊父故川原二美様

金屋郷 福田 博章様

御尊父故福田勝様

協和郷 安永 勝美様

御母堂故安永ヒサ様

皿山郷 本石 学様



〈行政相談とは〉

役場の仕事について

1. テキパキやってもらえない
2. 不親切な扱いを受けた
3. 処理に納得できない
4. 手続きの仕方がわからないなど、役場に対する苦情やご意見を公正な立場で皆様のご相談に応じるものです。

現在本町の行政相談委員は野々川郷の久保田芬さんです。

久保田さんは、60年4月から総務庁長官の委嘱を受け、今月まで数多くの苦情処理にあたられています。ご相談は全て秘密取り扱いとなっています。お気軽に久保田さんにご相談ください。

▼連絡先 ☎85-3726番（久保田芬さん宅）

お誕生おめでとう

子の名 父の名 住所

井上彩友美 修 永尾郷

松尾憲太郎 正憲 永尾郷

中島理恵 勝久 湯無田郷

酒井智明 敏夫 井石郷

永田有希 豊久 井石郷

植田正太 重正 折敷瀬郷

山田剛大 清 折敷瀬郷

清心 翼 折敷瀬郷

相川 一茂 宿郷

ご結婚おめでとう

松尾 直人 中尾郷

前田さゆり 小樽郷

古川普見雄 嬉野郷

松尾 良子 三股郷

松崎 好春 佐世保市

川野 明美 永尾郷

山口 敏夫 川棚郷

丸尾 久代 永尾郷

朝田 弘海 湯無田郷

宮崎登茂子 嬉野郷

太田 豊徳 金屋郷

志方 祥子 折敷瀬郷

浦添 信重 西彼郷

三岳 明子 金屋郷

小川 喜之 宿郷

富永由美子 宿郷

廣瀬 慎一 宿郷

重富 陽子 西有田町

お礼

波佐見町児童文化基金に本町出身で東京在住のノンフィクション作家、神 一行様から、多額の寄付をいただきました。心から厚くお礼申し上げます。

おくやみ申し上げます

山口 竹松 井石郷 81歳

中村 久司 鬼木郷 52歳

蒲池 妙子 折敷瀬郷 37歳

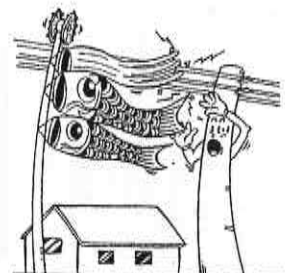
松岡 健一 協和郷 64歳

鯉のぼりは電線に

ふれないように

ご注意ください！

万一、電線や電柱にかかった場合は、最寄りの九州電力にご連絡ください



こちら編集室

▼この春町はビッグイベントの連続！まず三月二十日の「ハイスウェーを走ろう」・ロードレース大会」に参加六千四百人、役員四百人と正にマンモス大会となった。大会事務局（主管・町陸協）を中心に二カ月間におたる奮闘。連日深夜におよぶ作業。そして各団体の協力体制の中で「成功への道」が開けた。

▼四月一日から五日まで開かれた「第三十回波佐見焼陶器まつり」。今年は、昨年から始まった「中尾山深元めぐり」の祭典など新企画も登場。まつりに一層華を添えた。また姉妹都市マウア市一行を大歓迎すべく、パレード（血闘リ）など盛り込まれ、波佐見町民の心意気が集中。とにかく晴天の中で大成功のうちに幕を閉じた。

の二十一世紀を担う子供たちのため、このイベントを新たな基点（エネルギー）として心一つにして一歩一歩前進してゆかねばならない。